

2020年度（令和2年度）新潟公務員法律専門学校 「学校関係者評価会議」報告書

1. 学校関係者評価の実施について

この「学校関係者評価」は、学校教育法第42条・43条、及び学校教育法施行規則第66条・67条に基づき実施・作成した、「学校自己点検・評価報告書」の各項目に対して、卒業生や保護者、地域住民、関連企業・団体からなる「学校関係者評価委員会」において、各委員の知見をいかして更なる評価をしていただき、その評価結果を学校運営の改善に生かしていくことが目的となる。各評価委員には、「学校自己点検・評価報告書」をもとに改善事項等の意見を聴取し、より実践的な教育活動に生かしていくこととする。

2. 学校関係者評価委員一覧表

評価委員	所 属	役 職	出 欠	備 考
星野 隆	新潟市経済部商業振興課	課長	○	
田中 錬	平成23年度卒業生		欠席	
金子 康輔	新潟駅前町親和会	副会長	○	
荒木 和義	元県立高校校長		○	
林 和子	公務員ビジネス学科 在校生保護者		○	
沼波 功次	警察・消防学科 在校生保護者		○	

当校からは佐藤（学校長）、久代（副校長）、有馬（教務部長）、秋丸（主任）、宮本（主任）、松本（主任）が参加した。

3. 委員会次第（概要）

◇実施日時 2020年12月12日（土） 13:30～15:00

◇実施場所 新潟公務員法律専門学校 201教室

(1) 学校長あいさつ

(2) 学校自己点検・評価に関する改善討議

・新潟公務員法律専門学校の基本情報説明

・令和元年度 重点目標と改善報告

- | | | |
|-----------------|----------------|-------|
| ①建学精神・教育理念・教育目標 | ④教育目標の達成度と教育効果 | ⑦管理運営 |
| ②教育内容 | ⑤学生支援 | ⑧財務 |
| ③教育実施体制 | ⑥社会的活動 | ⑨法令遵守 |

（以上の項目に関する意見・指導をいただいた）

4. 各項目に対する主な指摘事項

① 令和元年度重点目標・改善報告についての指摘事項

- ・（荒木委員）新型コロナウイルスで経済的な理由だけでなく、メンタル面でも学びを諦めないようにする必要がある。2年生はまだ良いが、新入生は大変だったと思う。

⇒担任との面談だけでなく、外部のスクールカウンセラーへの相談も可能な体制をとっている。
実際に複数人が利用した。経済的な面では国の援助金を必要な学生にしっかりと配分し、NSG独自の奨学金制度も案内している。

- ・(星野委員) 産学連携事業について、引き続き商店街との連携を深めて頂いてありがたい。また「新潟2km」のキャッチフレーズに向けて都市政策のアイデアも頂けた。モノ消費だけでなく、コト消費などに注目が集まっている。公務員になるには現場を知ることが大事。マスコミ以外の情報収集能力も高めてほしい。その点で産学連携は素晴らしい教育となるだろう。
- ・(金子委員) あらためて校訓を見たが、「日常が大切」の文言は素晴らしい。人間性は付け焼き刃では変わらないからだ。ただ、家庭での躾や初等教育で生き方や考え方の方向性が決まってしまうため、19歳からの1～2年で人間性を修正するには限界があるのではないかと。入学選考ではどういう基準で見ているのか。地域としても子供達をどう支えていくか課題を感じている。

⇒当校としては教育機関としての責務があるので、「人のためになりたい」という素直な気持ちと誠実さがあれば入学選考で合格させ、入学後に実践的かつ親身な教育で人間性の向上に努めている。当校としても地域と協力して実施していきたい。

- ・(林委員) 緊急事態宣言下のオンライン授業では子供が生活リズムを作るのに役立った。その時の勉強で作ったノートも見返して使っているようだ。
- ・(沼波委員) 緊急事態宣言下での子供の様子は仕事で見れていないが、学校生活は楽しく充実していると話している。

② 学校自己点検・評価項目についての指摘事項

- ・(沼波委員) コロナで難しいのは理解できるが、社会体験の機会を何とか維持してほしい。
- ⇒インターンシップやボランティアは例年通りの状況に戻りつつある。また研修旅行は県内日帰りで計画中である。

※以上の他は特に指摘事項はなかった。